

令和5年度社会福祉法人鶴心会事業報告書

特別養護老人ホームトータス
トータスデイサービスセンター
トータス訪問介護ステーション
デイサービスセンター鶴舞温泉げんき館
トータス居宅介護支援事業所
市原市地域包括支援センタートータス

1. 全体総括

令和5年度は、約3年間に亘って大きな影響を受けた新型コロナウイルス感染症が漸く沈静化に向かったものの、高齢者福祉事業の性質上、これまでの感染対策を一変させるような緩和はできず、基本的な感染対策は継続しながらも、コロナ禍で大きく低迷している稼働率回復を第一目標に掲げての取り組みとなった。長らく継続している感染対策は、ご利用者やご家族にとっても不利益となる面が多々あったと思われ、当法人の特徴である各種行事等の開催については、当年度より漸次の再開を図り、次年度においては、より従前のかたちに戻って行きたいと考えている。このように、運営としては確実に回復方向に向かっているが、一方、経営的にはどうであったか。稼働率をはじめとして決算状況や人材面等について概括する。

前年度のとの較差について見てみると、稼働率については、ショートステイ部門を除いては、押し並べてプラス傾向を示している。まず特養入所について、ここ数年来、ご利用者の重度化が進行して亡くなられる方が非常に多くなっており、稼働率を低下させないためには、退所者数以上の新規入所の受け入れが必要となるが、現在の待機者の状況からして必至の努力を要する数値でもある。幸いにも、当年度の稼働率は対前年度比+7%、年平均値は93%であった。入所利用者の獲得には、近年益々難しさが募っているのが現実であり、その要因としては、同類施設との競合、民間類似施設の増加、さらには制度改正による間口の件等々あるが、常に満床に近づけるための方策を求め続けることが肝要である。

ショートステイの対前年度比は-8%の落ち込みとなった。ショートステイの受け入れについては、事業の性質上、感染症に対する警戒を最大限に取らざるを得ず、特に短日数を繰り返す利用については停止措置とした。また、長期利用者を積極的に入所に繰り上げたことが、当年度の率としても表れている。加えて、潜在的な問題としての定員数の多さが稼働率を上げきれない要因にもなっている。

トータスデイサービスについては、コロナ禍に入った4年前から従前との較差で毎年10%ほどのマイナス状態が続いており、当年度も上昇傾向には至らずにほぼ横ばいであった。この部門についても、稼働率及び効率的運営という観点から利用者定員を見直す時機にあると思われる。次いで、げんき館についてであるが、定員に対する稼働率としては年平均値59%であった。また対前年度比は+1%の微増に留まっている。申すまでもなく、この部門がコロナ禍という波をまともに被ったところである。コロナ禍に入る直前は81%という率であったので、その落ち込みは非常に目立つものとなっている。率としては伸び悩んではいるが、このところ新規利用者の申し込みが増加傾向を示しつつあり、次年度へさらに繋がることに期待を寄せるものである。

訪問介護にあっては、延べ訪問回数が対前年度比で月平均39回の減となった。この要因としては、年度中途において業務全体を縮小した影響が大きい。縮小せざるを得なかった理由は、特養部門のスタッフ不足が急激に深刻な事態に陥り、法人内での補充職員の遣り繰りをせざるを得ず、止むを得ず訪問スタッフからの応援を求めたことによる。

稼働率にも少なからず影響を及ぼすスタッフの動向についてであるが、中でも特養部門の職員において思いもかけなかった中堅職員の退職が続き、年度当初から余裕のない状況となっていた。これらの補充を早急に図るべく、各種媒体による募集をはじめとして、関係機関や関係者を通じての人材の確保に努めたところであるが、採用には至らなかった。そんな折、現場の要的立場にあった職員の病休や家庭事情等による長期的な離脱等も重なり、いよいよ厳しい状況に陥った。そこで、法人内の他

部署からの一時応援や、これまでの職員配置を大幅に見直しての態勢組み換えを行うとともに、派遣会社からの雇用も初めて取り入れることにより、何とか急場を凌ぐことができた。どの業界においても全国的な厳しい人手不足が続く中で、自国民だけを頼りにすることは、ほとんど難しい時代となっており、将来的なことも含めて外国人の雇用に踏み出したところ、幸いにも年度後半には2名の採用へと繋げることができた。加えて、次年度においても数名の採用を予定しているところである。

最後に決算状況についてであるが、まず、福祉事業による拠点決算については、当年度も前年度に引き続き赤字決算となった。部門別では、辛うじて本事業の主体である特養入所及び居宅介護においては黒字となったが、その他の部門についてはゼロ的かもしくは赤字であった。年度決算には稼働率が大きく反映するため、職員の意識改革をはじめ、このことに意を注いだ運営かつ経営態勢の構築が極めて重要なところである。また、公益事業である地域包括支援事業は、配置職の一つである保健師（あるいは、それに準ずる経験のある看護師）について欠員期間があったものの、前年度に引き続き黒字となった。なお、これら決算の詳細については決算報告によるものとする。

2. 令和5年度の主な事業

| | | |
|----|--------|--------------------------|
| 4月 | 5日 | 千葉県議会議員選挙不在者投票 |
| | 6日 | 介護職員健康診断 株式会社ICH健康管理センター |
| | 9日 | いとひや整骨院セミナー |
| | 12日 | 自家用電気工作物試験 中村電気管理事務所 |
| 5月 | 1日 | 排煙窓修繕 株式会社アスク |
| | 4～5日 | 端午の節句（げんき館） |
| | 11、24日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 16日 | 春のお茶会 |
| | 18日 | 特定建築設備等調査 新日本技術株式会社 |
| | | 親睦会総会 |
| | 24日 | お茶会（げんき館） |
| | 30日 | 市原市議会議員選挙不在者投票 |
| 6月 | 6日 | 照明交換工事 特養2F北 カトウ電設 |
| | 8、23日 | エアコン更新工事 特養4F 第3冷凍機株式会社 |
| | 9、16日 | 利用者6回目新型コロナワクチン予防接種 |
| | 12、29日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 13～19日 | 紫陽花見学バスハイク（げんき館） |
| | 19日 | 鶴舞保育所交流会 |
| | 23～29日 | 西山画廊見学（げんき館） |
| | 24日 | 鶴心会役員会 |
| | 27日 | デイ給湯器交換工事 京葉ガスリキッド株式会社 |
| 7日 | 4、7日 | エアコン更新工事 特養4F 第3冷凍機株式会社 |
| | 7、10日 | 誕生会（トータスデイ） |

| | | |
|-----|-----------|-------------------------------------|
| | 7～8日 | 七夕（げんき館） |
| | 10日 | 照明交換工事 特養2F北 カトウ電設 |
| | 12、25日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 14日 | 消防設備点検 有限会社誠和防災 |
| | 17日 | 創業祭 |
| | 19日 | 鶴舞看護専門学校生施設見学（特養3名、トータスデイ3名、げんき館4名） |
| | 26日 | 防災訓練 |
| | 28日 | 貯水槽清掃消毒点検 株式会社帝設備 |
| 8月 | 2日 | 給食施設立入検査 市原保健所 |
| | 11、31日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 14、22日 | 誕生会（トータスデイ） |
| | 24～25日 | 夏祭り（げんき館） |
| | 30日 | 納涼祭 |
| 9月 | 14～20日 | 敬老会（げんき館） |
| | 18日 | 敬老会 |
| | 19日 | 井戸点検 株式会社帝設備 |
| | 29日 | 窓ガラス修繕 特養2F北 株式会社アスク |
| 10月 | 3日 | 利用者健康診断 株式会社ICH健康管理センター |
| | 6日 | 職員健康診断 株式会社ICH健康管理センター |
| | 11日 | 運動会 |
| | 12、27日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 13、20日 | 利用者7回目新型コロナワクチン予防接種 |
| | 14、16～17日 | 運動会（げんき館） |
| | 23日 | 消防設備点検 有限会社誠和防災 |
| | 31日 | 職員新型コロナワクチン予防接種 |
| | | ハロウィン（げんき館） |
| 11月 | 7、21、28日 | 職員新型コロナワクチン予防接種 |
| | 8、28日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 10日 | 利用者インフルエンザ予防接種 |
| | 15日 | 鶴舞保育所交流会 |
| 12月 | 7日 | 寺谷地区いきいきサロン利用者送迎 |
| | 8日 | 冬季賞与 |
| | 13日 | 市原市法人監査 |
| | 14、27日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 15日 | 親睦会忘年会 |
| | 18日 | 防災訓練 |

| | | |
|----|--------|----------------------------|
| | 19～25日 | クリスマス（げんき館） |
| | 25日 | 特養トータス家族会クリスマスプレゼント配布 施設対応 |
| | 27日 | 餅つきの会 |
| | 29日 | 仕事納め式 |
| 1月 | 1日 | お屠蘇 |
| | 4日 | 仕事始め式 |
| | | 健康祈願式 |
| | 11～17日 | 初詣 高滝神社（げんき館） |
| | 15日 | 特定技能実習生ベトナム人1名受け入れ |
| | 23、24日 | 初詣 高滝神社（デイサービス） |
| | 24日 | 消防設備点検 有限会社誠和防災 |
| 2月 | 1日 | 特定技能実習生ベトナム人1名受け入れ |
| | | 節分（デイサービス） |
| | 14日 | バレンタイン（げんき館） |
| | 15、28日 | ビンゴゲーム（トータスデイ） |
| | 19日 | 朝礼 |
| | 27日 | 防災訓練 |
| 3月 | 2日 | ひな祭り（げんき館） |
| | 12日 | エアコン更新工事 特養2F南 第3冷凍機株式会社 |
| | 14日 | ホワイトデー（げんき館） |
| | 18日 | 朝礼 |
| | 21日 | 理事長訓示 |
| | | 鶴心会役員会 |
| | 27日 | バスハイク 特養2F 野見金公園 |

3. 令和5年度主な職員会議および研修等

1) 会議

- ・CTG連絡会議 月1回
- ・幹部会議 月1回
- ・管理者会議 月1回
- ・各委員会会議 月1回 or 隔月1回
- ・行事会議 随時

2) 内部研修会 (オンライン)

| 研修日 | テーマ |
|--------|---|
| 6月15日 | 介護施設向け法定研修 身体拘束廃止と高齢者虐待防止について |
| 7月21日 | 感染症・食中毒について |
| 8月26日 | 事故報告書の書き方について |
| 9月26日 | 身体拘束防止・廃止について |
| 10月20日 | 社会福祉施設で新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について (初動対応、ゾーニング等) |
| 11月20日 | 介護事故の防止等について～転倒・転落～ |
| 12月22日 | 高齢者虐待防止について |
| 1月22日 | 身体拘束廃止について |
| 2月26日 | ユマニチュードについて |

4. 特別養護老人ホームトータス

令和5年度の特養施設運営は、新型コロナの施設内クラスターの予防と稼働率向上の両立を第一の目標に掲げた。新型コロナの感染症法の位置付けは、季節性インフルエンザと同等の第5類に移行したものの、国や県の指導により、高齢者施設においては感染症対策を緩和することができず、引き続き、マスク着用、手洗い・手消毒、3密の回避、手の触れる部分の消毒・除菌、換気の徹底、検温の実施、面会制限、新型コロナワクチン施設内接種等の基本的な感染症対策を講じた。入所及び短期入所のご利用者の受け入れについては、抗原検査キットの活用やご利用者の家庭環境の精査等、施設内クラスターのリスクを最小限に抑えながら、極力受け入れる方針で臨んだ。

入所サービスについては、数年にわたるコロナ禍において、職員の退職や休業等による人員不足の深刻化が進み、新規利用者の円滑な受け入れの妨げともなっていたが、他部署からの応援体制の構築、派遣職員や外国人特定技能実習生の採用等、欠員の補充に努めた。一方、前年度比で退所者数が減少して利用回転率が下がり、他方では、老健クレインからのご利用者の移動も多くあったため、年度後半においては、稼働率の安定化に繋げることができた。しかしながら、市内高齢者施設の整備拡充の進行によりご利用者の獲得競争の様相を呈しており、当施設はユニット型全室個室であるため、高額な居室利用料が敬遠されてしまうケースも多く、新規利用者の獲得が困難な状況は継続している。

短期入所サービスについては、引き続き、長期利用の方を中心に受け入れを行ったが、長期利用は利用料も高額となるため、ご利用者の安定的な獲得に苦戦を強いられた。また、持病等による体調不良者も多く、施設主治医の健康管理下に置くための入所への繰り上げも多く発生し、稼働率を下げってしまう要因となった。なお、年度後半からは長期利用に加えて単発利用も再開している。

以上により稼働率は、入所（定員80名）93%（前年度比+7%）、短期入所（定員20名）39%（前年度比-8%）、入所・短期入所合計82%（前年度比+3%）の結果となった。令和6年度においては、新型コロナの動向に注視しつつも、さらなる利用稼働率の立て直しを図り、コロナ禍前の通常営業の回復に取り組んでいく。

稼働状況 入所 定員：80名

| 令和5年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年平均 |
|----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 営業日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 29 | 31 | 31 |
| 延利用者数（外泊を含めない） | 2135 | 2216 | 2145 | 2308 | 2309 | 2202 | 2308 | 2264 | 2349 | 2320 | 2188 | 2367 | 2259 |
| 要介護1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護2 | 60 | 62 | 54 | 31 | 31 | 30 | 59 | 60 | 62 | 31 | 29 | 31 | 45 |
| 要介護3 | 660 | 629 | 600 | 589 | 611 | 534 | 529 | 594 | 725 | 752 | 700 | 832 | 646 |
| 要介護4 | 755 | 803 | 831 | 1006 | 992 | 1038 | 1100 | 1018 | 991 | 981 | 957 | 981 | 954 |
| 要介護5 | 660 | 722 | 660 | 682 | 675 | 600 | 620 | 592 | 571 | 556 | 502 | 523 | 614 |
| 入院による延空床数 | 25 | 23 | 0 | 27 | 31 | 0 | 0 | 2 | 2 | 54 | 12 | 33 | 17 |
| 新規入所者数 | 0 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 1 | 4 | 3 | 3 |
| 退所者数 | 0 | 5 | 1 | 1 | 3 | 3 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| 稼働率 | 89% | 89% | 89% | 93% | 93% | 92% | 93% | 94% | 95% | 94% | 98% | 95% | 93% |

稼働状況 短期入所 定員：20名

| 令和5年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年平均 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 営業日数 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 29 | 31 | 31 |
| 延利用者数 | 307 | 227 | 213 | 198 | 191 | 237 | 299 | 279 | 230 | 204 | 244 | 228 | 238 |
| 要支援1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要支援2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要介護1 | 10 | 8 | 5 | 7 | 14 | 51 | 38 | 6 | 6 | 15 | 24 | 32 | 18 |
| 要介護2 | 9 | 0 | 0 | 2 | 1 | 6 | 2 | 31 | 29 | 30 | 58 | 31 | 17 |
| 要介護3 | 153 | 90 | 83 | 137 | 124 | 133 | 188 | 134 | 73 | 49 | 39 | 24 | 102 |
| 要介護4 | 76 | 98 | 95 | 21 | 21 | 17 | 29 | 48 | 65 | 79 | 76 | 104 | 61 |
| 要介護5 | 59 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 42 | 60 | 57 | 31 | 47 | 37 | 41 |
| 新規利用者数 | 1 | 0 | 3 | 3 | 0 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 |
| 利用終了者数 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 2 | 1 | 2 | 4 | 1 |
| 稼働率 | 51% | 37% | 36% | 32% | 31% | 40% | 48% | 47% | 37% | 33% | 44% | 37% | 39% |

稼働状況 入所・短期入所合計 定員：100名

| 令和5年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年平均 |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 稼働率 | 81% | 79% | 79% | 81% | 81% | 81% | 84% | 85% | 83% | 81% | 87% | 84% | 82% |

5. トータスデイサービスセンター

1) 感染症対応

新型コロナウイルス感染症の5類移行後も定時の換気や消毒清掃をはじめ、ご利用者へはマスクの常時着用をお願いし、朝送迎時の検温により発熱が確認された方はご利用を控えていただいた。職員やご利用者の家庭内での感染がしばしば発生したが、いずれもサービス内では感染拡大はなく無事にサービスを継続することができた。

2) 稼働状況

1日の平均利用人数は15.1/40人、年間平均稼働率は38%と昨年度比としては微増ではあるが目標稼働率とは大きな差があるため改善を要する。新規利用者は年間で27名とこれまで以上に積極的な受け入れを行ったが、利用終了は21名あり、ご利用者の状態低下による入所やショートステイの併用による利用回数減があるが、そのうち約半分については特養トータス及びCTGグループ内のサービスへと繋ぐことができている。

3) サービス

サービス面においては、認知症の進行による在宅での生活の悩みが多いことから、認知症進行防止に注力した。文字合わせや漢字読み取り、計算問題、リズム体操等の思考力や記憶力、指先を使用するようなレクリエーションの充実、コミュニケーション、傾聴、会話をを行った。特に体を動かすレクリエーションは好評で多くの方が熱心に参加された。

ご家族とのコミュニケーションも密に行い、自宅での様子やサービス利用中の様子を定期的に報告し合い、より安全で充実したサービス提供に努め、信頼関係の構築を目指した。

稼働状況 定員40名（つばめ20名 うぐいす20名）

| 令和5年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年平均 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 営業日数 | 20 | 23 | 22 | 21 | 23 | 21 | 22 | 22 | 21 | 20 | 21 | 21 | 21 |
| 延利用者数 | 298 | 353 | 318 | 321 | 370 | 319 | 316 | 339 | 316 | 330 | 323 | 308 | 326 |
| 要支援1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要支援2 | 0 | 0 | 0 | 8 | 9 | 8 | 9 | 8 | 9 | 8 | 7 | 8 | 6 |
| 要介護1 | 99 | 121 | 133 | 129 | 138 | 117 | 120 | 127 | 119 | 104 | 111 | 110 | 119 |
| 要介護2 | 124 | 144 | 126 | 125 | 147 | 127 | 126 | 142 | 137 | 133 | 131 | 134 | 133 |
| 要介護3 | 31 | 36 | 28 | 30 | 43 | 37 | 19 | 20 | 20 | 17 | 20 | 12 | 26 |
| 要介護4 | 44 | 45 | 24 | 26 | 32 | 30 | 31 | 33 | 30 | 40 | 40 | 41 | 35 |
| 要介護5 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 0 | 11 | 9 | 1 | 28 | 14 | 3 | 7 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 登録者数 | 40 | 41 | 45 | 47 | 50 | 50 | 47 | 49 | 48 | 48 | 50 | 47 | 47 |
| 新規利用者数 | 1 | 1 | 4 | 4 | 3 | 1 | 2 | 4 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 |
| 利用終了者数 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 5 | 2 | 3 | 1 | 1 | 4 | 2 | 2 |
| 稼働率 | 37% | 38% | 36% | 38% | 40% | 38% | 36% | 39% | 38% | 41% | 39% | 37% | 38% |

【資料】

年間平均介護度（前年度比）

| 要支援 1 | 要支援 2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 |
|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 0.1% | 1.9% | 36.3% | 40.5% | 8.0% | 10.8% | 2.5% |
| (-0.6) | (+1.9) | (+7.8) | (+1.0) | (-12.0) | (+1.3) | (+0.7) |

月別平均介護度

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2.1 | 2.1 | 1.9 | 1.8 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 1.9 | 2.0 | 2.2 | 2.1 | 1.9 |

年間平均介護度 2.0（前年度 2.2）

月別平均利用者数

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 15.1 | 14.9 | 15.3 | 15.3 | 16.1 | 15.2 | 14.4 | 15.4 | 16.2 | 14.3 | 15.4 | 14.7 |

年間平均：15.1 人（前年度：14.4 人）

年齢構成

| 65～69歳 | 70～74歳 | 75～79歳 | 80～84歳 | 85～89歳 | 90歳以上 |
|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 0% | 3.3% | 11.7% | 13.3% | 21.7% | 50.0% |

男女構成

| | 合計 |
|----|-------|
| 男性 | 31.7% |
| 女性 | 68.3% |

6. トータス訪問介護ステーション

1) 事業内容

①指定訪問介護（指定介護予防訪問介護相当サービス）事業

身体介護・生活援助・相談・助言

②地域との連携

関係市町村、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他居宅サービス事業所等との連携

③サービス提供

ご利用者の希望、困難となったこと（身体的、日常生活に必要な家事等）に関する支援と介助を訪問介護計画に沿って実施

④訪問ミーティング

ご利用者に関する情報と訪問介護計画に沿ったサービスについての共通理解等を目的に会議を月1回開催し、申し送りを確実に実施

2) 総括

各自が訪問介護員としての自覚、知識技術の向上、ご利用者の自立支援を心がけ、状況や状態、相談や訴え等に対し正確に理解、把握、観察、対応ができるよう取り組んだ。ご利用者に変化が見られた場合は、直ちに関係機関等に報告、連絡、相談を実施して連携を図り、最善の対応ができるよう努めた。

常に新しい知識と技術の向上のために外部研修を受け、ご利用者・ご家族に対する的確な対応ができるよう努めた。職員や職員の家族の体調不良等による人手不足もあり稼働率の向上は難しい状況であったが、可能な限りの新規受入れを行い、延訪問回数100を下回らないことを目標に努めた。ご利用者の要望に対しては、可能な範囲で柔軟に対応し、ご利用者・ご家族との信頼関係が変わることなくサービスを継続することができた。

現体制では対応困難な時間帯の相談や利用希望が増えており、対応の可否を慎重に検討して可能な限り受け入れするよう努めた。やむを得ず対応が困難な場合はケアマネジャーに相談し、ご利用者・ご家族に丁寧に事情を説明し、ご理解とご協力をいただいて他事業所に繋げることができた。

サービス面においては、提供の際は傾聴を心がけ、不穏な感情や不安感を和らげるよう努め、ご利用者の心身の状態に合わせて丁寧に対応した。ご利用者の心身の状態を注意深く観察することにより、見逃すことなく早めに気づき、各関係機関に報告・共有を行い、早期に対応することができた。また、職員間で課題を共有し、臨機応変に対応できるよう、利用前調査にヘルパーが同行できるよう努めた。

カンファレンスは、決められた曜日に朝の時間帯に短時間で実施した。全体カンファレンスは時間調整に難しさがあるため、個別対応を取り入れて、より詳細に各自の意見や対応を再確認することができた。要改善事項等があった場合は、指導及び研修を行い、それらが実際のサービス提供時に活かされているかどうか、本人に再度確認することによってサービスの改善と向上に繋がった。

以上を取り組んだことにより、少数の職員での対応であっても信頼関係を維持することができ、目標は概ね達成できたと評価している。今後も、ご利用者一人ひとりの状態や生活環境に合

わせて関係機関との連携を密に行い、小規模ではあるが故の長所を活かした安定した丁寧なサービスを実施していく。

年間稼働状況

| 令和5年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年平均 |
|--------|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|
| 延訪問回数 | 140 | 153 | 95 | 100 | 111 | 113 | 56 | 52 | 48 | 99 | 103 | 84 | 96 |
| 要支援1 | 22 | 22 | 17 | 16 | 19 | 17 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 4 | 10 |
| 要支援2 | 23 | 28 | 8 | 8 | 12 | 12 | 8 | 8 | 9 | 10 | 13 | 4 | 12 |
| 要介護1 | 50 | 43 | 44 | 54 | 57 | 56 | 20 | 24 | 21 | 34 | 35 | 31 | 39 |
| 要介護2 | 34 | 47 | 14 | 9 | 12 | 13 | 10 | 8 | 3 | 37 | 35 | 32 | 21 |
| 要介護3 | 11 | 13 | 12 | 13 | 11 | 11 | 12 | 12 | 12 | 11 | 12 | 10 | 12 |
| 要介護4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | 0 | 3 | 4 | 3 | 1 |
| 要介護5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 登録者数 | 25 | 26 | 22 | 18 | 17 | 18 | 8 | 9 | 8 | 18 | 18 | 15 | 17 |
| 内新規契約者 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 10 | 0 | 0 | 1 |
| 内終了者 | 0 | 5 | 5 | 3 | 1 | 0 | 10 | 0 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 |

7. デイサービスセンター鶴舞温泉げんき館

昨年度同様に引き続き新型コロナウイルスによる影響を受けた1年であり、感染対策の実施に加えて、感染リスクが高まるマスクを外す時間帯、すなわち入浴、昼食、おやつについて、ご利用者一人ひとりの実施時間や着席場所を正確に記録し、複数の感染者が発生した場合に感染ルートの確認ができる取り組みを継続して強化した。

サービス内容では、初めての試みである陶芸教室を11月より実施し、ご利用者からたくさんの喜びの声や笑顔をいただくことができ、利用目的や利用満足度向上につながる成果を得ている。

令和5年度の年間平均稼働率は、新型コロナウイルスによる感染予防での長期休みから終了となるご利用者も多くみられ、59%（前年度比+1%）と低迷した。

| 月 | 行事実績 | ボランティア実績 | 事務業務実績 | |
|-----|-------------------------------|----------------|--------------|--------------|
| 4月 | 西山庭園画廊見学 | 新型コロナ感染予防のため無し | 設備点検 相談業務 | 車両点検 請求業務 |
| 5月 | 端午の節句（レク） お茶会 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 6月 | 紫陽花見学バスハイク 西山庭園画廊見学 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 7月 | 七夕（レク） | 〃 | 〃 | 〃 |
| 8月 | 夏祭り | 〃 | 〃 | 〃 |
| 9月 | 敬老会 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 10月 | 運動会 ハロウィン | 〃 | 〃 | 〃 |
| 11月 | 紅葉狩り（レク） 陶芸教室 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 12月 | クリスマス会 陶芸教室 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 1月 | 初詣（高滝神社） 陶芸教室 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 2月 | 節分（レク） バレンタイン（レク） 陶芸教室 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 3月 | ひな祭（レク） ホワイトデー（レク） 陶芸教室 | 〃 | 〃 | 〃 |

稼働状況 定員：72名

| 令和5年度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年平均 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|
| 営業日数 | 25 | 27 | 26 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 26 | 24 | 25 | 26 | 26 |
| 延利用者数 | 1026 | 1134 | 1107 | 1076 | 1125 | 1122 | 1158 | 1101 | 1164 | 990 | 1001 | 1058 | 1089 |
| 要支援1 | 140 | 160 | 156 | 150 | 133 | 136 | 131 | 134 | 131 | 141 | 129 | 142 | 140 |
| 要支援2 | 268 | 272 | 280 | 257 | 291 | 293 | 295 | 296 | 312 | 248 | 261 | 271 | 279 |
| 要介護1 | 391 | 403 | 379 | 400 | 402 | 408 | 416 | 386 | 394 | 361 | 369 | 395 | 392 |
| 要介護2 | 152 | 209 | 194 | 176 | 202 | 195 | 224 | 193 | 243 | 168 | 180 | 190 | 194 |
| 要介護3 | 63 | 78 | 83 | 81 | 82 | 80 | 81 | 79 | 73 | 66 | 52 | 43 | 72 |
| 要介護4 | 0 | 2 | 5 | 4 | 5 | 4 | 3 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 要介護5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 1 |
| 総合事業 | 420 | 442 | 415 | 415 | 434 | 435 | 434 | 440 | 451 | 395 | 400 | 421 | 428 |
| その他 | 12 | 10 | 8 | 8 | 10 | 6 | 8 | 10 | 8 | 6 | 10 | 8 | 9 |
| 登録者数 | 194 | 192 | 192 | 192 | 192 | 191 | 193 | 192 | 188 | 181 | 178 | 176 | 188 |
| 新規利用者数 | 6 | 3 | 5 | 4 | 1 | 1 | 5 | 5 | 4 | 1 | 1 | 3 | 3 |
| 終了者数 | 5 | 5 | 6 | 3 | 1 | 2 | 6 | 7 | 4 | 9 | 5 | 4 | 5 |
| 稼働率 | 57% | 58% | 59% | 57% | 58% | 60% | 62% | 59% | 62% | 57% | 56% | 57% | 59% |

8. トータス居宅介護支援事業所

1) 総括

ご利用者の意思と人格を尊重し、常にご利用者の立場に立った支援を行った。サービス計画は疾病に対する予防的視点を持ちながら、本人の能力に合わせた目標を設定し、自立支援を心掛けた。寝たきりや看取り期のご利用者については、ご利用者やご家族の気持ちに寄り添い、インフォーマルサービスも提案しながら、ご利用者の心身の支援とご家族の介護負担の軽減に努め、ご利用者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援を行った。

コロナ禍以降、オンラインでの研修が増え、移動時間に煩わされず、時間を有効に使いながら研修に参加することができた。研修内容は事業所内会議で共有し、職員全員の知識・技術の向上に努め、ご利用者やご家族の状態や状況に応じた提案ができた。

新規相談においては、退院間近や末期癌の相談が多くなっている。また、独居や高齢者世帯等の困難事例も増加傾向にある。今後においても、ご利用者やご家族が安心して在宅生活を続けられるよう、地域包括支援センターや地域の関係機関（サービス事業所、往診医、病院等）との連携強化を図っていく。

2) 職員体制

①管理者 1名 兼務（主任介護支援専門員）

②介護支援専門員 5名 専任5名（うち主任介護支援専門員1名）合計6名

契約状況一覧

| 令和5年度 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 | |
|-------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 要介護 | 月初契約数 | 162 | 165 | 167 | 163 | 164 | 166 | 172 | 171 | 172 | 177 | 173 | 170 | 169 | |
| | 新規契約数 | 9 | 5 | 3 | 6 | 6 | 7 | 3 | 6 | 6 | 3 | 4 | 5 | 5 | |
| | 契約終了数 | 6 | 3 | 7 | 5 | 4 | 1 | 4 | 5 | 2 | 7 | 7 | 3 | 5 | |
| | 月末契約数 | 165 | 167 | 163 | 164 | 166 | 172 | 171 | 172 | 177 | 173 | 170 | 172 | 169 | |
| | 請求数 | 154 | 164 | 159 | 157 | 157 | 168 | 167 | 164 | 174 | 172 | 167 | 160 | 164 | |
| | 内訳 | 要介護1 | 62 | 62 | 63 | 64 | 61 | 61 | 58 | 59 | 66 | 64 | 62 | 57 | 62 |
| | | 要介護2 | 47 | 54 | 51 | 51 | 53 | 60 | 59 | 60 | 58 | 59 | 56 | 56 | 55 |
| | | 要介護3 | 29 | 27 | 28 | 27 | 28 | 31 | 34 | 31 | 30 | 32 | 31 | 30 | 30 |
| | | 要介護4 | 11 | 16 | 11 | 9 | 9 | 10 | 10 | 9 | 10 | 10 | 10 | 11 | 11 |
| | | 要介護5 | 5 | 5 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 10 | 7 | 8 | 6 |
| 要支援 | 月初契約数 | 18 | 19 | 18 | 19 | 17 | 19 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18 | 18 | |
| | 新規契約数 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | |
| | 契約終了数 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 月末契約数 | 19 | 18 | 19 | 17 | 19 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18 | 19 | 18 | |
| | 請求数 | 18 | 20 | 17 | 17 | 17 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 | 18 | 19 | 18 | |
| | 内訳 | 要支援1 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 6 |
| | | 要支援2 | 11 | 14 | 11 | 11 | 11 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 | 14 | 12 |

※請求数（月遅れ請求含む）

3) 居宅会議開催状況

| 日付 | 会議内容 |
|----------|--|
| 2023/4/7 | 害獣・害虫のいる劣悪な環境の中での生活の援助について |
| 4/12 | 居宅介護支援事業所の運営基準について |
| 4/19 | 妻が脳梗塞発症、本人全盲で介護サービス拒否。受け入れるための援助方法について |
| 4/27 | 認知症があり通所利用を拒否している利用者の対応について |
| 5/2 | 施設入所を希望するも、不安感が大きく決断できない利用者について |
| 5/10 | 課題整理表の記入について |
| 5/17 | 同居家族がいる場合の生活援助について |
| 5/24 | うつ病の基本的な理解と関わり方 |
| 5/31 | 認定調査についての再確認 |
| 6/9 | 入浴拒否のある利用者が訪問看護の利用で入浴を受け入れられた事例 |
| 6/14 | 長男に依存していたが、長男が末期癌になった利用者の援助について |
| 6/22 | よくある創傷ケア（基本から応用まで） |
| 6/28 | 薬の副作用について |
| 7/4 | ACPについて |
| 7/12 | 借家のごみ屋敷化。母子関係も悪化する家族の支援 ※他法人との共同事例検討 |
| 7/20 | 入退院時におけるMSWとケアマネジャーの連携について |
| 7/24 | 今さら聞けない認知症とその治療 |
| 8/4 | 介護付き有料老人ホーム |
| 8/10 | 自立支援のための福祉用具の選び方とは |
| 8/24 | 高齢者虐待防止の推進 |
| 8/31 | 带状疱疹について |
| 9/7 | 入所料金滞納で退所となった認知症高齢者2人の生活支援について |
| 9/14 | 認知症について（中級） |
| 9/21 | 地域包括支援センター在宅介護教室に参加して |
| 9/27 | 令和5年度自立支援地域ケア会議での事例 |
| 10/5 | 災害時対応事業継続計画について |
| 10/12 | 令和5年自立支援型地域ケア会議報告 |
| 10/19 | 基礎から学ぶ！ACP |
| 10/26 | 終末期の方への訪問リハビリテーション |
| 11/7 | 服薬管理ロボの活用・調剤薬局の選び方 |
| 11/9 | 新製品の歩行器について |
| 11/15 | デイサービスと居宅事業所との合同会議 |
| 11/22 | 令和5年自立支援型地域ケア会議報告 |

| | |
|-----------|--|
| 11/29 | 災害時対応事業継続計画について |
| 12/6 | 神経難病について |
| 12/14 | 成年後見人制度について |
| 12/20 | 脱水を防ごう |
| 12/27 | 再入院させないための在宅での排泄ケア・尿路感染症対策 |
| 2024/1/10 | 暮らしの中にある高齢者の食支援 |
| 1/18 | 乳癌で抗がん剤治療中、精神的に不安定になっている女性の援助について |
| 1/23 | 認知症にかかわる専門職の多職種協働研修 |
| 1/31 | 介護者の介護に問題があるも、サービス導入に抵抗感を示す家族の支援 |
| 2/7 | 移動用福祉用具のデモンストレーション |
| 2/13 | 認知症専門職における多職種協働研修 |
| 2/22 | 市原市介護支援専門員研修 |
| 2/29 | がんと低栄養 |
| 3/5 | 令和6年度介護報酬改定の概要 |
| 3/15 | 勝手に退院し、透析を拒否している男性の支援 |
| 3/21 | 在宅ケア研修会（難病相談・支援センター等による支援） |
| 3/28 | リハビリ担当者はリハビリの継続が望ましい、医師は指示書の記入はできないと言われている利用者の対応について |

4) 研修参加状況

| 日付 | 研修内容 |
|-----------|-----------------------------|
| 2023/5/11 | 気をつけておきたい薬の副作用 |
| 5/19 | ケアマネ交流会 |
| 6/12 | 誤嚥を防ごう |
| 6/16 | 高齢者虐待防止の推進セミナー |
| 6/21 | 入退院時におけるMSWとケアマネジャーの連携について |
| 6/28 | 最期まで自分らしく生きるための意思決定 ACPについて |
| 7/7 | 今さら聞けない認知症とその治療 |
| 7/12 | フレイル&頻尿予防を専門家と一緒に考えよう |
| 7/29 | 自立支援のための福祉用具選びとは |
| 7/28 | 带状疱疹について |
| 9/14 | 認知症について（中級） |
| 10/11 | 第1回介護支援専門員研修会（地域包括支援センター） |
| 10/19 | 基礎から学ぶACP |
| 10/23 | 暮らしの中にある高齢者の食支援 |
| 10/24 | 終末期の方への訪問リハビリテーション |

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 11/7 | 服薬管理ロボの活躍・調剤薬局の選び方 |
| 11/30 | 再入院させないための在宅での排泄ケア・尿路感染症対策 |
| 12/23 | 認知症に関わる専門職の多職種協働研修 |
| 2024/1/12 | 第2回市原市ケアマネジャー連絡会 |
| 2/16 | 糖尿病について |
| 2/16 | 令和5年度第2回介護支援専門員研修 |
| 2/29 | 癌と低栄養 炎症に着目した栄養療法 |
| 3/9 | 終活について |
| 3/22 | 新しいアルツハイマー病の治療・軽度認知障害と軽度認知症 |

9. 市原市地域包括支援センタートータス

1) 総括

地域包括ケアシステムの実現のために、多種多様な福祉に関わる相談対応だけでなく、通いの場への参加、南総・加茂地区における様々な会議・会合等への出席、あるいは看護学生の受入れ等を行い、地域及びその関係機関との連携強化に努めてきた。

令和5年度は、高齢者を対象とした総合相談件数も高齢者以外を対象とした包括的相談支援件数も、前年度比でわずかに増加している。以前と比べれば、1件の相談に要する支援期間が長期化しており、その要因としては、年を追うごとに相談内容が複雑化、複合化していることが挙げられる。課題の解決に向けて、職員一人ひとりが、高齢者、障がい者、子ども等、全ての分野に対応できるよう、様々な会議や研修会等への参加を通して、専門職としての知識と技術の研鑽に努めている。また、担当する南総西・東地区、加茂地区ともに、介護サービスを提供する事業所数やケアマネジャー数が減少しており、地域に住む人々が適切な支援が受けられるよう、各事業所や関係機関との連携強化を図っている。

2) 介護予防ケアマネジメント業務

①介護予防ケアプラン作成及び介護予防ケアマネジメント件数(新規)

| 区分 | センターで実施した件数 | 委託した件数 | 合計 |
|--------------|-------------|--------|-----|
| 介護予防ケアプラン | 40 | 336 | 376 |
| 介護予防ケアマネジメント | 19 | 149 | 168 |
| (うち事業対象者) | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 59 | 485 | 544 |

②介護予防支援サービス利用等契約締結件数(当月新規)

| 区分 | 事業対象者 | 要支援1 | 要支援2 | 合計 |
|-------------|-------|------|------|----|
| センターで実施した件数 | 0 | 8 | 4 | 12 |
| 委託した件数 | 0 | 42 | 36 | 78 |
| 合計 | 0 | 50 | 40 | 90 |

③給付管理件数

| 区分 | 総合事業 | | | 予防給付 | | | 総計 |
|-------------|------|-----|-----|------|------|------|------|
| | 新規 | 継続 | 合計 | 新規 | 継続 | 合計 | |
| センターで実施した件数 | 5 | 121 | 126 | 4 | 205 | 209 | 335 |
| 委託した件数 | 20 | 711 | 731 | 54 | 1557 | 1611 | 2342 |
| 合計 | 25 | 832 | 857 | 58 | 1762 | 1820 | 2677 |

④介護予防支援サービス利用等契約が終了した者の内訳

| 区分 | 自立 | 死亡 | 転出 | 要介護 | その他 | 合計 |
|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 内訳 | 16 | 8 | 7 | 81 | 4 | 116 |

3) 総合相談支援、権利擁護業務

①相談受案件数（当該年度における新規の実件数）

| 区分 | | 合計 |
|--------|--------------|-----|
| 総合相談支援 | | 604 |
| 権利擁護 | 成年後見制度に関すること | 5 |
| | 高齢者虐待に関すること | 3 |
| | 消費者被害の防止 | 1 |
| | 困難事例への対応 | 0 |
| | その他（DV防止・対応） | 0 |
| 合計 | | 613 |

②相談内容と件数（延べ件数）

| 区分 | | 合計（延べ） |
|--------|-----------------------|--------|
| 総合相談支援 | 介護保険制度や認定に関すること | 1,331 |
| | 介護サービスの利用や介護方法等に関すること | 2,115 |
| | 入院・入所・退院・退所に関すること | 1,111 |
| | 医療に関すること | 368 |
| | 認知症に関すること | 555 |
| | 精神疾患に関すること | 206 |
| | 独居高齢者の安否に関すること | 361 |
| | 経済面や住居に関すること | 594 |
| | 家族関係に関すること | 79 |
| | 住宅改修に関すること | 42 |
| | 介護保険外のサービスに関すること | 354 |
| | 市のサービス調査（実態把握） | 30 |
| | その他（※具体的内容を下欄に記入する） | 54 |
| 権利擁護 | 成年後見制度に関すること | 133 |
| | 高齢者虐待に関すること | 15 |
| | 消費者被害の防止 | 56 |
| | 困難事例への対応 | 97 |
| | その他（DV防止・対応） | 2 |
| 合計 | | 7,503 |

③窓口時間外の緊急対応件数

| 区分 | | 徘徊 | 虐待 | 救急 | 安否確認 | 電話 | その他 | 合計 |
|------|-----|----|----|----|------|-----|-----|-----|
| 対応件数 | 実件数 | 0 | 0 | 3 | 3 | 151 | 3 | 160 |
| | 延件数 | 0 | 0 | 3 | 3 | 174 | 3 | 183 |

④成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用に至った件数

| 区分 | 成年後見制度 | 日常生活自立支援事業 |
|----|--------|------------|
| 件数 | 2 | 0 |

⑤ 困難事例対応状況

| 区分 | 新規 | 継続 | 合計 |
|------|----|----|----|
| 報告件数 | 4 | 3 | 7 |

・ 相談内容

| 認知症 | 経済的困窮 | 精神疾患 | 介入拒否 | 入退院(所) | 生活支援 | 家族問題等 | サービス調整 | 受診支援 | その他 |
|-----|-------|------|------|--------|------|-------|--------|------|-----|
| 0 | 3 | 4 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 |

・ 相談経路

| 民生委員 | 介護支援専門員 | 介護サービス事業所 | 市関係者 | 医療機関 | 本人 | 子・子の配偶者 | 配偶者 | 親族 | 県関係機関 | その他 |
|------|---------|-----------|------|------|----|---------|-----|----|-------|-----|
| 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 介護支援専門員に対する個別支援の実施状況

| 区分 | 実施件数 |
|-----------------------------|-------|
| ケアマネジメント支援 | 399 |
| 困難事例への後方支援 | 665 |
| 介護支援専門員の質の向上のための支援(研修・会議など) | 0 |
| 担当者会議開催支援 | 1 |
| 介護支援専門員同士のネットワーク構築支援 | 0 |
| 医療機関を含めた関係機関との連携体制構築支援 | 2 |
| 社会資源の紹介・制度説明 | 3 |
| 居宅サービス事業者等への研修等の働きかけ | 0 |
| その他 | 2 |
| 合計 | 1,072 |

② 介護支援専門員交流会、研修会等の開催

| 日付 | 名称 | 場所 | 参加人数 |
|-----------|---------|------------|------|
| 2023/5/19 | ケアマネ交流会 | トーラス多目的ホール | 23 |

5) 重層的支援体制整備事業

① 包括的相談支援業務 相談受理件数(当該年度における新規の実件数)

| 区分 | 電話等 | 訪問 | 来所 | その他(会議等) | 合計(実件数) |
|---------|-----|----|----|----------|---------|
| 包括的相談支援 | 41 | 5 | 7 | 0 | 53 |

② 包括的相談支援業務 相談内容と件数(延べ件数・前月以前からの継続分も含む)

| 区分 | 電話等 | 訪問 | 来所 | その他 | 合計 |
|---------|-----|----|----|-----|-----|
| 病気 | 16 | 7 | 0 | 0 | 23 |
| 自殺企図 | 2 | 9 | 0 | 0 | 11 |
| 経済的困窮 | 285 | 68 | 14 | 1 | 368 |
| 就職定着困難 | 59 | 27 | 0 | 1 | 87 |
| 介護 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中卒・高校中退 | 151 | 38 | 4 | 0 | 193 |
| 刑余者 | 5 | 2 | 0 | 0 | 7 |

| | | | | | |
|-------------------------|-----|-----|----|---|-----|
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| けが | 31 | 4 | 6 | 0 | 41 |
| メンタルヘルス（鬱・不眠・依存症・適応障害等） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 多重・過重債務 | 13 | 1 | 0 | 0 | 14 |
| 生活習慣の乱れ | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 子育て | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ひとり親 | 3 | 1 | 1 | 0 | 5 |
| コミュニケーションが苦手 | 46 | 22 | 10 | 0 | 78 |
| 障がい（手帳有） | 20 | 4 | 0 | 0 | 24 |
| 住まい不安定 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 家計管理の課題 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 社会的孤立（ニート・引きこもり等を含む） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不登校 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| DV・虐待 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 本人の能力の課題（識字・言語・理解等） | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 障がい（疑い） | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| ホームレス | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 就職活動困難 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 家族関係・家族の問題 | 2 | 3 | 2 | 0 | 7 |
| 非行 | 49 | 4 | 0 | 0 | 53 |
| 外国籍 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 被災 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 683 | 191 | 38 | 2 | 914 |

6) その他

①地域ケア会議の実施状況

| 区分 | 日付 |
|----|---------------------|
| 個別 | 2023/7/21、2024/3/14 |
| 圏域 | — |

②会議・研修等参加及び開催状況

| 日付 | 名称 |
|-----------|-----------------------------|
| 2023/4/18 | 市内包括連絡会議 |
| 4/18 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 4/18 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 4/20 | 市原市認知症対策連絡協議会 第11回総会 第32回例会 |
| 5/16 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 5/16 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 5/23 | 市内包括連絡会議 |
| 5/26 | ケアマネ連絡会総会 |
| 5/26 | ちーき会 |
| 5/28 | 南総地区社会福祉協議会評議員会 |

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 6/7 | 脳の健康教室（Zoom） |
| 6/13 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 6/20 | 市内包括連絡会議 |
| 6/23 | ちーき会 |
| 7/11 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 7/11 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 7/13 | 障害者就業・生活支援センターの活動内容 ナカボツセンターと包括の協働事例 |
| 7/15 | 発達障害について 最近の精神科医療について |
| 7/18 | 市内包括連絡会議 |
| 7/20 | 市原市認知症対策連絡協議会 |
| 7/21 | 市原園地域密着型推進会議 |
| 7/21 | 地域連携支援研修会 心不全を知ろう |
| 7/25 | ケアマネジャー連絡会研修 |
| 7/28 | ちーき会 |
| 8/8 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 8/8 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 8/15 | 市内包括連絡会議 |
| 8/18 | ヤングケアラー支援体制強化研修 |
| 8/18 | 地域連携支援研修会 |
| 8/19 | 牛久地区小域福祉ネットワーク安心見守り支援員会議 |
| 8/21 | 中核地域生活支援センター大会 |
| 8/21 | 南市原医療懇話会 |
| 8/22 | 地域包括支援センター運営協議会 |
| 8/26 | ちーき会 |
| 9/1 | キャラバンメイトスキルアップ研修 |
| 9/12 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 9/12 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 9/14 | 市原市認知症対策連絡協議会 |
| 9/19 | 市内包括連絡会議 |
| 9/22 | ちーき会 |
| 9/27 | 市原圏域意見交換会 |
| 10/6 | 鶴舞地区安心見守り訪問員会議 |
| 10/10 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 10/10 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 10/11 | 包括主催ケアマネ研修会 |
| 10/13 | 循環器病センター研修 かたるみえる地域事例検討 |

| | |
|-----------|-----------------------|
| 10/13 | 高次脳機能障害リハ千葉懇話会 |
| 10/14 | 南総地区福祉バザー実施計画会議 |
| 10/17 | 市内包括連絡会議 |
| 10/20 | ちーき会 |
| 10/24 | 第2層協議体関係者フォローアップ研修 |
| 10/29 | RUN 伴+ 認知症フェスタ |
| 10/31 | 南総地区第二層協議体会議 |
| 11/8 | 主任介護支援専門員交流会 |
| 11/11 | 平三地区小域福祉ネットワーク見守り部会議 |
| 11/14 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 11/14 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 11/21 | 市内包括連絡会議 |
| 11/24 | ちーき会 |
| 11/28 | 認知症サポーター養成講座 |
| 12/12 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 12/12 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 12/15 | ちーき会 |
| 12/19 | 学区民会議 |
| 12/19 | 市内包括連絡会議 |
| 12/20 | 認知症初期集中支援チームフォローアップ研修 |
| 12/25 | 加茂地区第二層協議会 |
| 2024/1/16 | 市内包括連絡会議 |
| 1/16 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 1/16 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 1/17 | 地域ささえあい推進協議会 |
| 1/18 | こころの健康についての勉強会 |
| 1/25 | 市原市認知症対策連絡協議会 |
| 1/26 | ちーき会 |
| 1/30 | 消費者被害見守り講座 |
| 1/30 | 障がい者支援協議会権利擁護部会研修 |
| 1/31 | 社会福祉士交流会 |
| 1/31 | 福祉総合相談交流会 |
| 2/1 | 中核との意見交換会 |
| 2/7 | 第2回南市原地域医療懇話会 |
| 2/13 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 2/15 | 研修：高齢者虐待～セルフネグレクトを含む～ |

| | |
|------|----------------------------|
| 2/16 | 包括主催第2回介護支援専門員研修会 |
| 2/19 | 精神障害者の地域移行及び地域定着に関する職員の研修 |
| 2/20 | 市内包括連絡会議 |
| 2/29 | 研修：成人・高齢者の発達障害への理解と対応 |
| 3/7 | 加茂地区社会福祉法人相談研修 |
| 3/11 | 包括職員向け研修 |
| 3/12 | 加茂地区民生委員児童委員協議会 |
| 3/12 | 南総地区民生委員児童委員協議会 |
| 3/13 | ひきこもり支援研修 |
| 3/14 | 市原園デイサービス運営推進会議 |
| 3/14 | 南総地区第二層協議会 |
| 3/14 | 市原地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会 |
| 3/15 | 障害福祉サービス等提供事業者協会発足会 |
| 3/19 | 市内包括連絡会議 |
| 3/19 | 精神症状を伴う認知症の人への対応 |
| 3/22 | 認知症 Web セミナー |
| 3/25 | 地域包括支援センター運営協議会 |

③通いの場・老人会・茶話会等参加状況

| 日付 | 名称 |
|-----------|-------------------------|
| 2023/4/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 4/10 | 通いの場 レディース会 |
| 4/23 | 通いの場 カトレア会 |
| 4/25 | 通いの場 (奉免) |
| 4/26 | 通いの場 (西国吉) |
| 5/9 | 通いの場 すみれ会 |
| 5/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 5/14 | いきいきサロン茶話会 |
| 5/17 | 通いの場 レディース会 |
| 6/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 6/11 | 牛久地区小域福祉ネットワーク茶話会(皆吉) |
| 6/21 | 通いの場 レディース会 |
| 6/23 | 牛久地区小域福祉ネットワーク茶話会(皆吉団地) |
| 6/28 | 通いの場 (西国吉) |
| 7/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 7/21 | 根古屋老人会 |

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 7/23 | 通いの場 カトレア会 |
| 7/26 | 通いの場 (西国吉) |
| 8/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 8/30 | 通いの場 レディース会 |
| 9/12 | 通いの場 すみれ会 |
| 9/15 | ふれあいいいききサロン |
| 9/20 | 宿滝老人会 |
| 9/20 | 高滝地区小域福祉ネットワークフォローアップ研修 |
| 9/24 | 牛久地区いきいきサロン(牛久) |
| 9/30 | 白鳥地区小域福祉ネットワークフォローアップ研修 |
| 10/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 10/18 | 通いの場 レディース会 |
| 10/22 | 牛久地区小域福祉ネットワーク茶話会(西国吉) |
| 10/22 | 通いの場 カトレア会 |
| 10/24 | 通いの場 奉免さくらの会 |
| 11/4 | 福祉の勉強会 |
| 11/9 | 更生女性保護会 |
| 11/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 11/11 | 平三地区小域福祉ネットワーク見守り部会議 |
| 11/17 | 根古屋老人会 |
| 11/19 | 南総地区福祉バザー |
| 11/20 | 宿滝老人会 |
| 11/22 | 加茂地区 ふれあいサロン |
| 11/22 | 通いの場 (西国吉) |
| 11/26 | 牛久地区小域福祉ネットワークふれあいサロン(妙香) |
| 11/28 | 認知症サポーター養成講座 |
| 11/29 | 認知症家族交流会 |
| 12/2 | 牛久地区小域福祉ネットワークふれあいサロン(牛久NT) |
| 12/10 | 菅の谷台 老人会 |
| 12/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 12/13 | 高滝小域福祉ネットワーク推進委員会研修 |
| 12/13 | 福祉の勉強会 |
| 12/19 | 認知症サポーター養成講座 |
| 12/20 | 通いの場 レディース会 |
| 2024/1/13 | 平三地区小域福祉ネットワーク見守り部会 |
| 1/16 | 通いの場 すみれ会 |

| | |
|------|--------------------------|
| 1/25 | 在宅介護教室 |
| 1/26 | 根古屋老人会 |
| 2/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 2/18 | 牛久小域福祉ネットワーク茶話会(佐是団地) |
| 2/21 | 通いの場 レディース会 |
| 3/2 | なのはなフェスタ |
| 3/9 | 平三地区小域福祉ネットワーク見守り部会議 |
| 3/10 | 富山地区小域福祉ネットワークフォローアップ研修 |
| 3/10 | 通いの場 銀杏の会 |
| 3/17 | 牛久地区小域福祉ネットワーク茶話会(藪・岩地区) |
| 3/18 | 里見地区老人会 |
| 3/20 | 宿滝老人会 |
| 3/27 | 里山サロン |
| 3/27 | 通いの場 (西国吉) |